

全国協議会 ニュース

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髓バンク推進連絡協議会
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1 Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217 FAX.(03)3356-8637
発行責任者:野村 正満
http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655
注意! 変更になりました。

何があんでも30万人ドナー登録を ~「今年度の活動計画案」を理事長に聞く~



野村理事長

来る5月20日に鳥取の米子で全国協議会の2001年度通常総会があります。総会では今年度の活動計画が協議されますが、計画案のポイントを野村正満理事長に聞きました。

野村「私たちの運動の原点ともいえる「ドナー登録推進」に力を入れなければなりません。新規登録者数の超低空飛行を何とかしてはねのけ、早期の30万人達成のために全国のボランティアが力を合わせていきたいと思っています」

Q 昨年は10周年記念事業などありましたか、今年の重点は?

野村「私たちが運動の原点ともいえる「ドナー登録推進」に力を入れなければなりません。新規登録者数の超低空飛行を何とかしてはねのけ、早期の30万人達成のために全国のボランティアが力を合わせていきたいと思っています」

Q 具体的な取り組みは?

野村「献血並行登録の沖縄と同様の取り組みを全国規模で展開できるように、日赤や厚生労働省などと連携してボランティアの全面協力で推進します。また、フィルターDNA検査の導入など、登録環境の見直しも強く働きかけたいと思います」

Q 患者支援についてはどうでしょうか?

野村「もちろん、継続して白血病フリーダイヤル、佐藤きち子患者支援基金などに取り組んでまいります。10周年記念で発行した冊子「白血病といわれたら」の増補改訂版もできましたので「活用下さい」

Q その他に今年の特徴は?

野村「財政的な問題がかなりの割合で活動に影響を与えてきました。私たちの収入は大半を寄付金という不安定な性格のものに頼っています。昨年度は予算を1500万円を下回る寄付金でした。財政的な基盤を堅固にするようしていかなければなりません」

Q 財政問題はいつものこと、今年には特に?

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

野村「賛助会員制度を導入するよう検討と準備を進めています。賛助会員を獲得するため、各地団体の皆様のご協力をお願い致します」

財団理事会 評議員会傍聴報告

3月30日に都内法曹会館にて、骨髄移植推進財団の第20回通常理事会と評議員会が開催されました。

今回は、理事・評議員の任期切れに伴う、新しい人事が大きな議案でした。また、今年度財団が10周年を迎え、更なる成長発展を期して、変化する時期でもあると感じました。

12年度補正予算、13年度予算案については、昨今の厳しい経済情勢が反映されて、特に募金収入依存体質である財団の財政構造に關しての議論が交わされました。また、新年度事業計画の骨子としては、特に低迷するドナー登録者数拡大に向けた諸施策が計画されています。また、財団発足10周年を迎え、大規模な記念事業も計画されているようです。また、委員会組織再編の一環としていくつかの委員会の統合、そして新たに倫理委員会、事業評価委員会の設置も決定しました。更には、コーディネート業務の迅速化、ドナー安全の徹底等も盛り込まれ、今年度の意欲を十分くみ取れる計画となりそうです。

新年度の理事会、評議員会メンバーとして、全国協議会からは、大谷貴子副会長が理事に、また島山茂房副理事長が評議員にそれぞれ決定し、2年の任期で今後の会議での積極的な発言を期待したいと思います。今回で評議員を退任される陽田秀夫副会長は、引き続き財団の事実上の意志決定機関ともいえる企画管理委員会の財務担当委員として再任することになりました。

また、小池欣一理事長、田中展郎常務理事が退任し、高久前副理事長が理事長に、副理事長には中達也氏が、新常務理事に田中康康氏が就任しました。(三田村)

財団新理事一覧
理事長 高久史磨(自治医科大学 学長)
副理事長 中達也(宗教学者)
理事 寺 代表役員
理事 浅野茂隆(東京大学 医学部 科学研究所付属病院 院長)
理事 東ちづる(女優)
理事 氏家齊一郎(社団法人 日本民間放送連盟 会長)
理事 白田貞夫(社団法人 日本歯科医師会 会長)
理事 本園科医師会(会長)
理事 海老沢勝二(日本放送協会 会長)
理事 大谷貴子(全国骨髓バンク推進連絡協議会 副会長)
理事 草刈隆(日本赤十字社 事業局技監)
理事 小寺良尚(名古屋第一赤十字病院 第四内科 部長)
理事 斎藤英彦(名古屋大学 医学部大学院医学研究科 教授)
理事 笹月健彦(九州大学生体防御医学研究所 教授)
理事 佐谷圭一(社団法人 日本)

冊子ができました

全国協議会が発行する患者さん向けの冊子「白血病と言われたら」増補改訂版ができました。初版と比べて2倍半のボリュームで244ページの中味の濃い内容です。お申し込みは全国協議会事務局、または各地加盟団体へどうぞ。

- 1冊500円(消費税別)
- 送料実費(1冊の場合108円)

第12回 理事会報告

4月15日・全国協議会事務所

報告事項
●3月会計報告
●10周年関連事業の最終的報告
●冊子「白血病といわれたら」の発行
●情報誌第7号の発行について
●佐藤きち子患者支援基金について
●NMDP春ミーティング派遣(協議事項)
●加盟・退会・後援等の承認
●規約諸規程について
●事務局文書取扱規程、事務局

式会社 相談役
理事 三浦大助(長野佐久市市長)
理事 森真由美(東京都老人医療センター 血液科 部長)
理事 柳田邦男(作家)
理事 山本文男(全国町村会 会長)
理事 鷲尾悦也(日本労働組合連合会 会長)
理事 渡辺恒雄(社団法人 日本新聞協会 会長)

事務規程、旅費規程
会計規程
非常勤事務局員規程
白血病フリーダイヤル運営規程
2001年度米子大会に向けて
2001年度総会について
臓器移植対策室の申し出について
有償ボランティアについて
ボランティア保険の加入
賛助会員制度の創設について
定款の一部変更について

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●2000年(平成12)度の移植件数は715例
日本骨髄バンクを介した2000年度の非血縁者間移植件数は715例(前年度比21%増)と、前年度の589例より126例増加しました。ここ2年で約300例伸びるといって大幅増加傾向が続いており、3月末現在の移植累計数は3,264件に達しました。一人でも多くの患者さんの生きるチャンスをつくるため、本年度は800例を目指し、積極的な取組をおこなってまいります。

●各種の業務マニュアル類を整備しました 原則公開しています
当財団では、コーディネーター業務改革にともなって、連絡調整業務に関する一連のマニュアルを整備いたしました。骨髄バンクに関する業務はこうしたマニュアルを遵守して遂行されます。
現在、完成したのは、①コーディネーター業務マニュアル基礎編(基本ステップを記述したもの)②コーディネーター業務マニュアル(移植調整担当編、初期コー

骨髄バンクNOW

街頭でドナー登録を訴えました。この日は県内23ヶ所で「にいがた・骨髄バンクを育てる会」の街頭キャンペーンが一斉に行われ、県民の大きな注目を集めました。患者さんが名前や病名を公表して参加したのは初めてです。

●日本骨髄バンクの現状(2001年3月末現在)

	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,582	135,847	163,625
患者登録者数	137	1,583	10,650
骨髄移植例数	59	-	3,264

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

●患者さんに焦点を当てた登録会・キャンペーン、大きな成果を上げる
愛知県の「あいかちゃん」のイチゴ登録会に続いて、4月1日、新潟市では先天性代謝異常に苦しむ若山空ちゃん(1歳6カ月)が、実名で母親の裕希さんとともに

新役員候補者すべて決定

4月15日、役員選考委員会より理事長にあてて選考結果の報告がありました。これですべての新年度の役員候補が決定し、総会の承認を経て就任します。選挙によって決まらず、役員選考委員会に依頼された役員候補の選考結果は次の通りです。

【会長】海部 幸世(再任)
【副会長】大谷 貴子(再任)
【副会長】三瓶 和義(新任・東京)
【副会長】田中 重勝(新任・岐阜)
【理事】斎藤江美子(新任・推薦理事 東北地区・福島)
【監事】大塚 和博(再任・税理士)
【監事】武田 重幸(新任・北海道)
【監事】小野田守男(新任・静岡)

来場者5万人のNICAFで あやちゃん展

3月28日から4月1日まで東京・有楽町の東京国際フォーラムで開催された「第7回国際コ

(骨髄移植推進財団 川原)

ンテンポラリーアートフェスティバル(略称NICAF)2001Tokyo——この会場に、三瓶彩子ちゃんの絵と、鈴木章さんのコンピュータグラフィックスの作品が展示されました。NICAFはアジアで唯一・最大の現代美術展。今回の展示は「骨髄バンクを応援する若手国会議員の会」会長の野田聖子衆議院議員と、NICAF事務局のご厚意で実現したものです。入り口付近の壁面で異彩を放つ、彩ちゃんと章さんの作品、アンディ・フグのパネルは、来場者の足を止め、作品に見入り、チャンスやリーフレットなどの資料をお持ちになる方も目立ちました。期間中の来場者は5万人との発表。骨髄バンクを理解していただく好機になりました。



「命の源 さい帯血移植」 公開シンポジウム

4月4日、日本大学会館に於いて第1回「命の源 さい帯血移植」公開シンポジウムが開催されました。さい帯血移植の現状や今後について、東京大学医学部研究所附属病院長の浅野茂隆先生、高橋恒夫先生、日本大学医学部の麦島秀雄先生、日本

大学医学部産婦人科の山本樹生先生からのご講演の後、日本での成人へのさい帯血移植1例目の佐藤ときえさんは患者の立場から、息子さんがさい帯血移植を受けられた大川原千代子さんは家族の立場からさい帯血移植についてお話しされました。

さい帯血移植は細胞数の問題など、まだ課題は残されているものの成人へも適用されるようになってきているとのこと、骨髄移植とあわせて患者にとってさらに大きな希望となるように感じました。(松尾)

ドナーちゃん(11) 大川はるみ



各地のたより 各々より お寄せください。

函館 盛り沢山のイベント 大成功



4月15日(日)、函館市民会館に於いて「第4回骨髄バンクを応援する集い」が開催されました。遠方よりお出でいただいた大谷貴子さんの「感動! 講演」、「いのちのあさがお」上映、よさこいソーラン、マーチングバンド演奏のほか、ロビーにおいては「あやちゃんの贈り物展」「多田そうべい先生の骨髄バンク教室」ビデオ上映、そして3

階展示室には、採血室を設け、ドナー登録会を開催しました。前日、遠路はるばる釧路から小川真理さんに講師として来ていただいた「ドナー登録説明員養成研修会」を開催致しました。研修を受けた10人は、元患者さん2名、ドナー2名、ボランティアの医師、看護師、患者家族、そして世話役としてライオンズメンバー3名が加わりました。また、財団からは、矢澤総務部長が出席され、側面からアドバイスをいただきました。さて、当日の結果はドナー登録47名でした。午後1時に開始された登録会は、イベント終了後の4時半時点で、わずか22名でした。ところが、登録会終了

間際に、どやどやと入って来た若者の一団がありました。ホールでの最後の出し物、マーチングバンド「マキシマム」(函館代表で全道大会、全国大会にも出場している社会人バンド)の皆さんでした。今回は、保健所から4名(医師、看護師、係長)、血液センターから2名、共に事前に説明員としての研修を受けたボランティアが活躍致しました。また、自らご出席され、若い方々に命の尊さと骨髄バンクへの応援を呼びかけてくださいました函館市長、保健所長、親身になって励まし応援して下さいました保健予防課長に厚く御礼申し上げます。(函館 石川昭夫)

神奈川 円覚寺 ピアノ三重奏の夕べ

多くの方々のご縁のおかげで、神奈川では4月7日、第10回目を迎えることができました。普通は同じことを10回も続けていると主催者側はマンネリを恐れ、これでいいのか? 何か変えなければと考えるしまうものですが、ほぼ同じ日時の同じ場所、同じ顔ぶれでのこのコンサートが毎年楽しみでしょうがない。私たちのこの気持ちは多分サントク・フローリアン・トリオの方にも、そして足をお運びいただくお客様にも通じているのではないかと思います。本当にお陰様でありたいことです。今年はまだ一つうれしいことがありました。円覚寺の本堂の庭園に植樹をさせていただいたことです。紅梅です。毎年早春に花を咲かせてくれることでしょう。

静岡 患者会が発足

血液疾患の患者でつくる「つじの会」が2月18日静岡で発足しました。顧問として県立子供病院血液腫瘍科三間屋先生。静岡赤十字病院血液内科藤田浩之先生をお迎えすることができました。この会は血液疾患をめぐる医療、生活の問題等を学び医療関係者と患者との理解、協力関係の向上を会員相互の情報、交換の親睦を図る目的としています。患者が当たり前のことを、当たり前前に聞けない。長期入院しているとなかなか医師や看護師さんに言えないこと、聞けないことがでてきます。(これじゃあいけないですよ) 自分一人で考えてしまうのではなく同じ患者同士聞きあい、話あえる患者さんを中心として小さな出来事や悩み、愚痴などが気持ちを少し楽にし、次のステップに進ん



でいければと思っております。まだ発足して2ヶ月足らずにヨチ歩きの会ですが全員で頑張っていると思います。(八木まゆみ)

京都 患者会が発足

京都第一日赤で骨髄移植認定病院として初めての骨髄移植が3月吉日行われました。砂原修司さん(23歳)は昨年12月にドナーが見つかり、約3ヶ月足らずでの移植実現毎日感謝の日々を送っておられます。移植当日、「骨髄液到着」の知らせに移植を待つ患者さんや御家族がずらりと並び拍手でお迎えしました。「お兄ちゃんが高、ご本人や御家族の希望により名前を公表させて頂きました。(なかよし会 中津和美)



助かる!」と妹さん。「ドナー登録はどうすれば?」とか「勤務先にチャンスを」と申し出て頂いた方々ありがとうございました。

心からのご寄付を ありがとうございました

3月24日~4月17日	
鈴木純子	現金 1,680円
切明 隆	現金 20,000円
山村 昭一郎	現金 1,766円
田中 甲子雄	現金 500,000円
浅井 みえ子	現金 2,000円
三井住友銀行広告企画グループ	切手 10,264円
●佐藤さち子患者支援基金	
切明 隆	現金 20,000円
●白血病患者支援基金	
クスのアオキ こととの会	現金 100,000円 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

GET POWER! Regain!

三井株式会社

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に 成人(15才以上)1日1回1本。
J-リゲイン 100ml・194円 / リゲインA 50ml・500円 / リゲイン 50ml・291円 (医薬部外品)
価格はすべてメーカー希望小売価格(本体価格) http://www.sankyo.co.jp/healthcare/